

## アウトリーチ活動報告書

難波貴志

北海道大学大学院獣医学研究院

助教

アウトリーチ活動名：「北大獣医学部 体験スクール 2026」

動物のお医者さん…だけじゃない！

獣医学部の世界へようこそ・研究体験ワークショップ

日時：2026年2月21日 13:00~15:30

場所：北海道大学 獣医学部

対象：札幌近郊の中学生(30名程度)

2022年度より獣医学研究院の有志教員によって継続されている本イベントは、次世代を担う若い世代が獣医学の最前線に触れ、その研究内容を肌で感じる機会を提供することを目的としています。特に、理系・文系の進路選択が決まる前段階にある中学生を主な対象とし、将来的な理系進学に関心を高めてもらうことを重視しています。「獣医師」という言葉からは、一般的に犬や猫の診療を担う臨床医が連想されがちですが、実際には牛や馬などの大動物診療をはじめ、動物科学の基礎研究、公衆衛生管理、さらには感染症対策など極めて広範な役割を担っています。本プログラムでは、実験体験や現役学生との直接的な対話を通じて、こうした獣医学の多様な側面を伝えるとともに、札幌市近郊に根ざした活動として、地域社会における大学の存在意義を実感してもらう貴重な場となっています。

今年度のプログラムでは、獣医師の多岐にわたる職域紹介やスキルスラボの見学、感染症・公衆衛生分野および解剖学の体験実習を実施しました。さらに、現代の獣医学教育に欠かせない ICT 技術の活用事例も積極的に導入し、最新の大学教育の一端を実体験できる構成としました。私が担当した解剖学のブースにおいては、骨格標本の 3D モデルと実物を見比べ、骨の形状や大きさ、さらには牛と馬の構造的な違いといった「種差」を詳細に観察する時間を設けました。参加した中学生たちの多くは、これまで「展示物」として眺めるだけだった骨格標本を一つの学問的な対象として捉え直し、骨の形状や位置関係から筋肉の付着や身体が動くメカニズムを論理的に紐解くという、科学的な思考のプロセスを経験してくれたと思います。

質問コーナーでは、動物や獣医師という職業に対して純粹かつ強い好奇心を持つ生徒たちから、多角的で新鮮な質問が次々と寄せられ、教員や学生にとっても大きな刺激を受ける機会となりました。こうした一連の体験が、生物学や獣医学に対するさらなる探求心を呼び起こし、将来の獣医師や獣医科学者を目指すきっかけとなることを期待しています。あわせて、同行された保護者の皆様にも獣医師が果たす幅広い社会貢献について理解を深めていただく一助となれば幸いです。